



## 国際化学オリンピック観戦のススメ

●  
**木原伸浩** Nobuhiro KIHARA

神奈川県立理学部化学科 教授, 国際化学オリンピック日本委員会 実行委員会・科学委員会 副委員長



今や多くの人に知られるようになったが、「オリンピック」には、今夏に東京で開催されたスポーツの祭典 (Olympic) のほかに、科学や地理など特定の分野の問題を解いて頭脳を競う一群のオリンピック (商標の関係で Olympiad) がある。一昔前の Olympic と同様、いずれもアマチュアの (高等教育を受ける前の) 若者を対象としている。化学の分野では国際化学オリンピック (International Chemistry Olympiad: IChO) が毎夏に開催され、今年はその主催で7月25日から8月2日に開催された。

Olympic でもそうであるように、IChO にも「参加者」「参加者の支援者」「観戦者」「主催者」というように様々な関わり方の持ち方がある。「観戦者」とはすなわち化学のサポーターということである。Olympic でメダルの数だけを取り上げて意味がないのと同じく、IChO においても「観戦者」の役割は重要である。

IChO はクイズ大会ではない。問題を解くのに必要な化学的な知識はすべて提示されている。問題には公式集も定数表も周期表も付いており、試験中は電卓を使うこともできる。便宜上、参考書を見たり、ネットを検索したりするのは禁止されているが、問題の答えがどこかにあるわけではないので、参考書を見ながら解いたとしても、手応えは変わらない。メダルを目指すわけではない「観戦者」は、参考書を片手に手軽に参戦できる。

特別な知識が不要でも IChO の問題は難しいし、そうでなければオリンピックの名に値しない。問題が難しいのは、そこに知らないことが書いてあるからではなく、発想の飛躍や論理的な思考力が要求されるからである。と言っても無理な要求はしない。「参加者」が化学の醍醐味を楽しめるように出題される。だから、「観戦者」が IChO の問題を楽しむためには、Olympic と同じように「解説者」が必要かもしれない。より深い化学の理解があれば、「観戦者」は IChO の問題をより深くまで楽しむことができるだろう。

問題を解くのに必要な知識は、シラバスと「準備問題」と呼ばれる一群の問題によって提供される。準備問題と本大会の問題は大会 HP (<https://www.icho2021.org/problems/>) から入手できる。英語で読むのが面倒であれば、「参加者の支援者」によって作られた日本語版が、上記 HP あるいは日本化学会の IChO の HP (<http://icho.csj.jp/exam.html>) から手に入る。「観戦者」には、これらの問題を賞味することで、ぜひ化学を楽しんでいただきたい。そして、この稿を読んでいる諸兄弟姉にお願いしたいのは、「観戦者」としてだけでなく、ぜひ、若い「観戦者」の「解説者」となって、彼ら彼女らに化学の楽しさ、奥深さ、そして美しさを伝えていただきたい、ということである。

昨今、「フェイクニュース」や「陰謀論」が幅を利かせ、しばしば科学が軽んじられる。ことは化学に限ったことではないが、身の周りの物質を扱う化学は、科学的な思考力を養い「反科学」に対抗するのに適していると思う。むしろ、諸兄弟姉は普段から化学の普及に尽力されていることと思うが、IChO の問題は「高いレベルで化学を楽しむ」ことに特化している。日本が IChO を主催したこの機会に、改めてその活用を期待したい。

© 2021 The Chemical Society of Japan